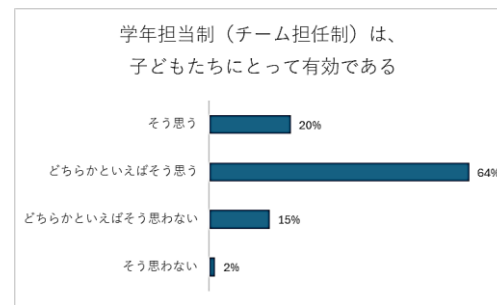
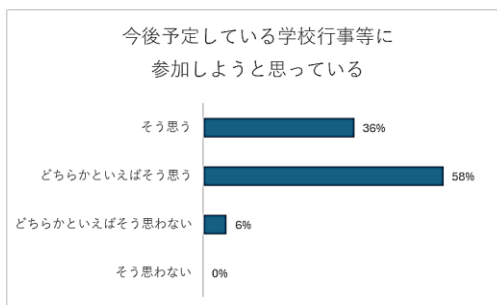
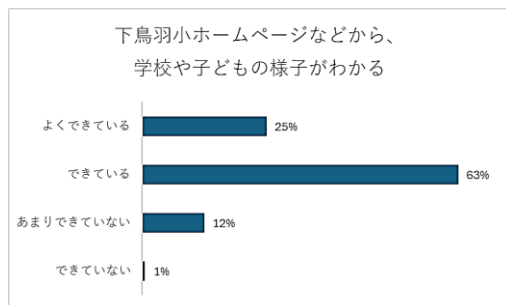
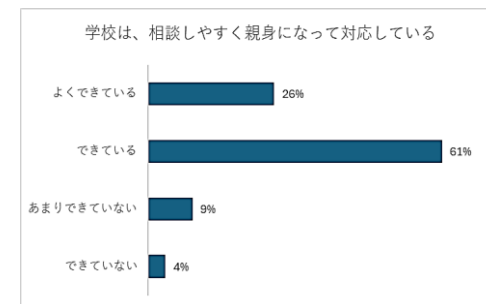
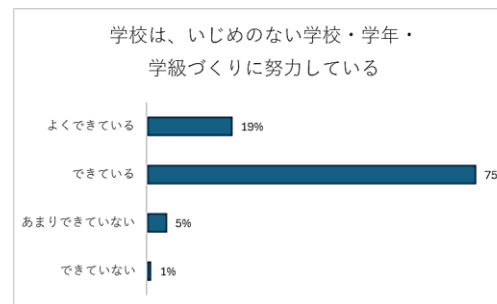
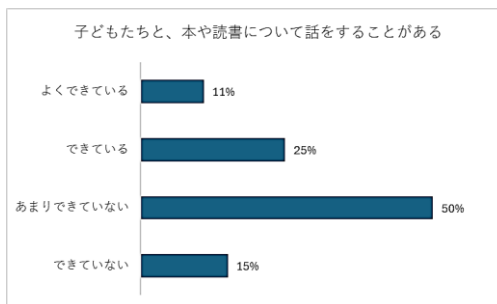
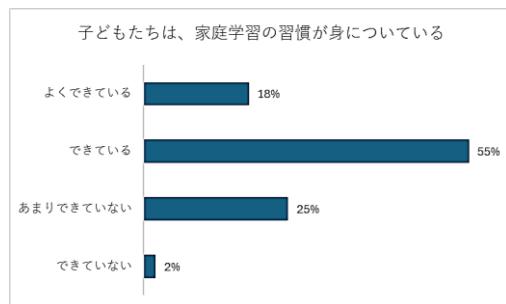
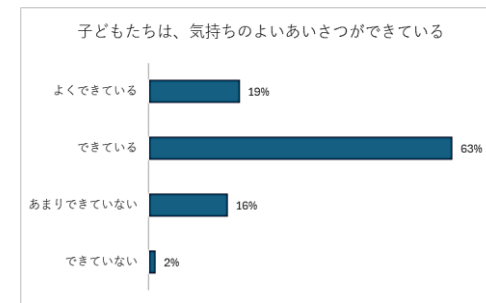
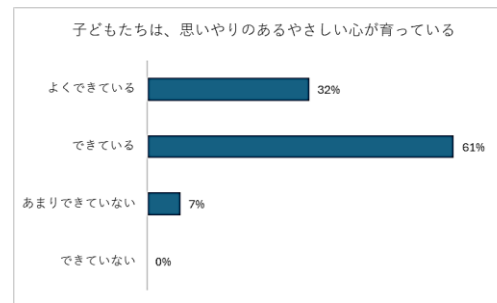
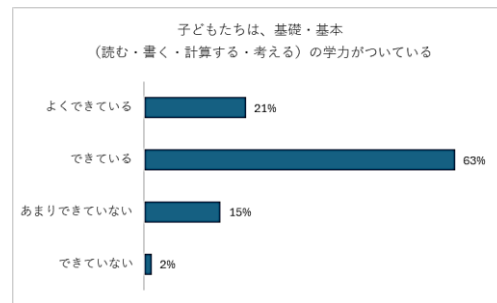
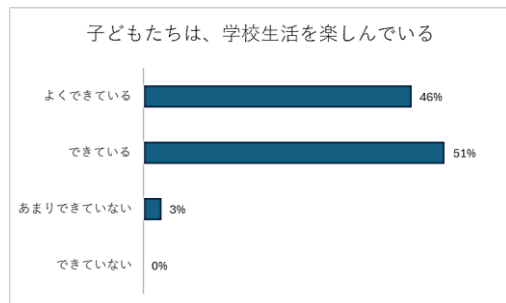


前期下鳥羽ツウエイアンケート結果(保護者)

このたびは、前期下鳥羽ツウエイアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。195 名の方からご回答をいただきました。

令和 7 年 7 月
京都市立下鳥羽小学校
校長 北村 晃



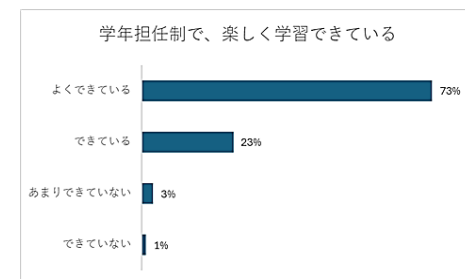
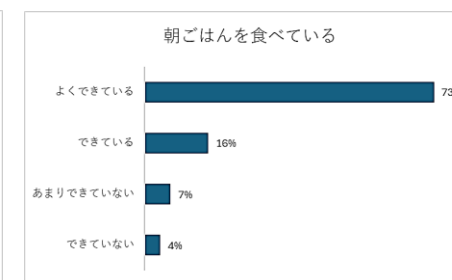
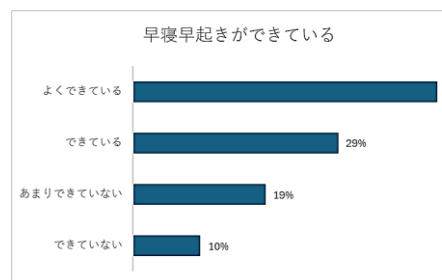
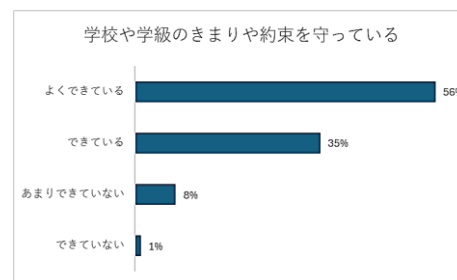
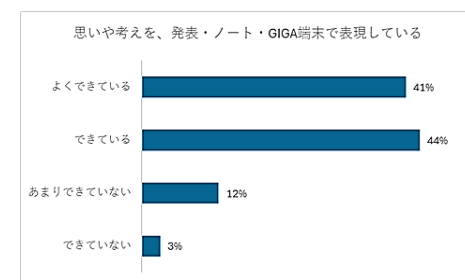
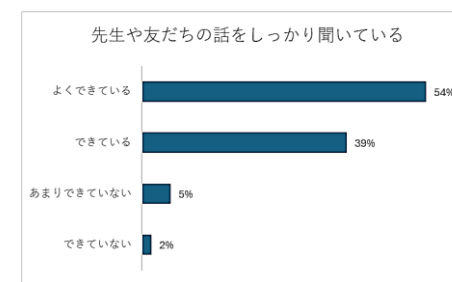
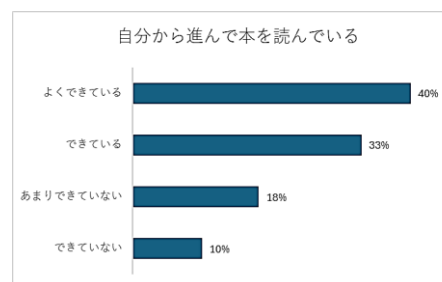
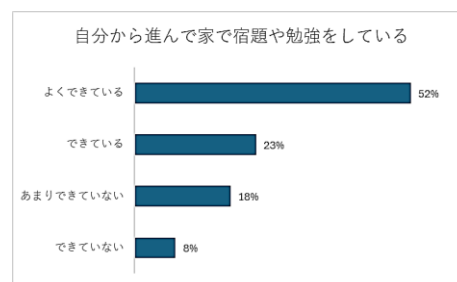
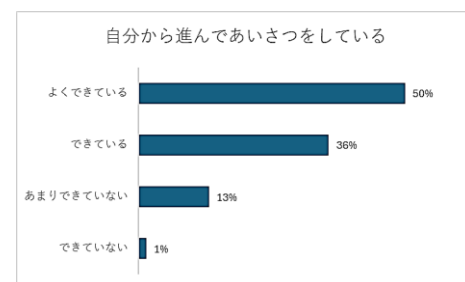
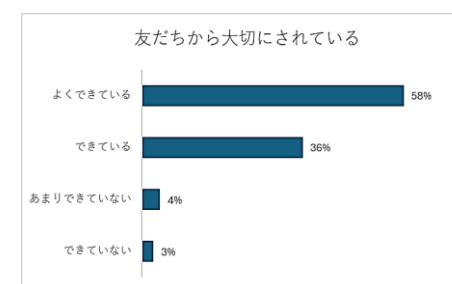
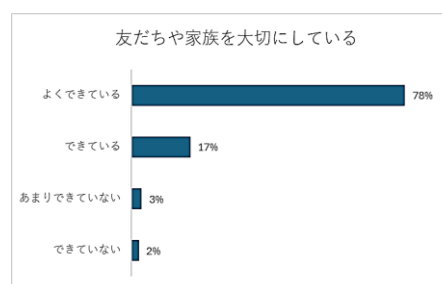
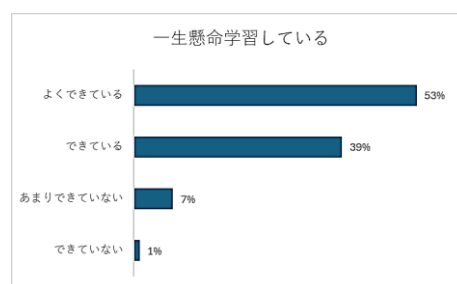
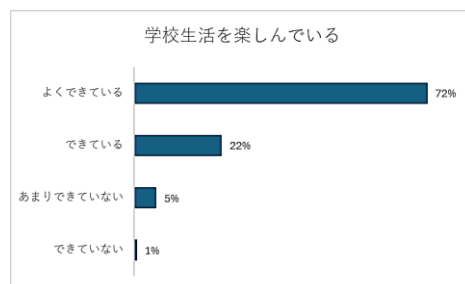
アンケートの結果から、子どもたちが「学校生活を楽しんでいる」と感じている保護者の方が多く、安心して通える環境と受け止めていただいていることがわかりました。また、「思いやりのある心が育っている」「いじめのない学校づくりへの努力」「相談しやすい雰囲気」「ホームページなどによる情報発信」「学校行事への参加意欲」など、多くの項目で肯定的な回答が8割を超えており、学校の取組が保護者の皆様に評価されていることを大変うれしく思います。一方で、「家庭での読書に関する会話」については、「あまりできていない」「できていない」との回答が約6.5割にのぼり、課題が見られました。読書は、子どもの言葉の力や想像力、考える力を育む大切な活動です。学校では、読書週間の取り組みやおすめの本の紹介などを通じて、子どもたちが本に親しむ機会を増やしていきたいと考えています。ご家庭でも、短い時間でも構いませんので、「この本、面白かったね」など、読書について話す時間を持っていたら、子どもたちの読書への関心が高まります。また、「家庭学習の習慣」や「あいさつの定着」についても、肯定的な回答がやや低めでした。これらは日々の積み重ねが大切ですので、学校と家庭が協力しながら、子どもたちの生活習慣を育てていければと思います。

今回のアンケート結果を受けて、学校では今後も子どもたち一人ひとりが安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。保護者の皆様との連携を大切にしながら、よりよい学校づくりを進めていきたいと考えております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

前期下鳥羽ツーウェイアンケート結果(児童)



令和7年7月
京都市立下鳥羽小学校
校長 北村 晃



アンケートでは、「一生懸命学習している」「友だちや家族を大切にしている」「友だちから大切にされている」「自分から進んであいさつをしている」などの項目で、肯定的な回答が8割以上となり、多くの子どもたちが安心して学校生活を送っていることがうかがえました。これは、学年担任制をはじめとする学校の取組によって、子どもたち一人ひとりに目を向けながら、日々の関わりを大切にしている成果と受け止めております。一方で、「自分から進んで家で宿題や勉強をしている」「自分から進んで本を読んでいる」「早寝早起きができていない」といった項目では、否定的な回答が2割を超えており、生活習慣や家庭学習、読書習慣に課題があることも見えてきました。

学校では、こうした課題に対して、朝の読書時間の工夫や生活リズムを意識した声かけ、学習意欲を高める活動などを通して、少しずつ改善を図ってまいります。ご家庭でも、「今日はどんな勉強をしたの?」「最近読んだ本はどうだった?」など、日々の会話の中で子どもたちの関心を引き出していただけると、よりよい習慣づくりにつながると考えております。